

認知症に対する抑肝散、誤嚥性肺炎予防に半夏厚朴湯など、在宅高齢者に対して漢方薬が処方される
ことが増えてきました。

西洋医学とは考え方も、診方も異なる漢方医学。

「悪いところを取り除く」ではなく、「基本的な生活や食事を整え、生体の防衛力を高める」という漢方のアプローチは、看護との親和性が高いといえます。

本特集では、高齢者に焦点を当て、どのような病態・症状に漢方薬が効果的なのか、そのときに看護・介護の視点で注意したいポイントは何か、事例から学んでいきます。

さらに、「飲みにくい」と思われがちな漢方薬（エキス製剤）に特化した服用の工夫や、見逃されがちな副作用についても解説します。

西洋医学とは異なる漢方特有のチェックポイントや考え方を知ること、高齢者にありがちな「困りごと」に、思わぬ解決策が見つかるかもしれません。

特集

高齢者に効く

漢方

知っておきたい
効き方・使い方・副作用

